



東村山稲門会ニュース 第232号

ホームページ <http://higashimurayama-waseda.jp/>

平成 28 年 7 月 9 日 発行
発行責任者：當間 昭治
編集者：當摩 照夫
042-396-3033



創立20周年記念納涼会 盛大に開催します

今年度は創立20周年の冠を付した各種行事を実施してまいりました。
今回の「納涼会」はその中核をなすものであり、全ての会員の皆様にご案内いたします。又、近隣稲門会や三田会にも声をかけ、20周年を飾るに相応しい内容をと考えました。

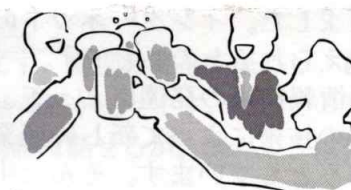
メインのイベントは、東村山市の無形文化遺産である「久米川祭囃子」です。そして会員有志によるハーモニカ等の合奏と恒例のビンゴゲームも企画しました。今年度母校に入学した後輩や早稲田祭の運営スタッフも参加予定で、彼らから若さをもらいたいと願っています。

ご家族の参加も大歓迎、同封した葉書は 7月31日までに返信をお願いします。

記

日時 8月11日(祭) 17時～19時30分
場所 サンパルネ・コンベンションホール(東村山駅 西口駅ビル2F)
会費 会員 4,000円 会員ご家族 2,000円

本件のお問い合わせについては、副会長の滝川桜子までお願いします。(電話 042-394-8187)



会からのお知らせ

○ 平成28年8月 定例役員会

日時 8月11日(祭) 14:00～16:00
場所 サンパルネ・コンベンションホール
(17時から納涼会があります)

○ 退会

八木 正晴 さん (死去)

当会会員の八木正晴さん(昭28商)は6月9日に逝去されました。
心からご冥福をお祈りいたします。会則により香典を差し上げました。

内藤 慎 さん (死去)

当会会員の内藤 慎さん(昭28商)は6月25日に逝去されました。
心からご冥福をお祈りいたします。会則により香典を差し上げました。

第94回市民雑学講座報告

第 94 回市民雑学講座は、6 月 4 日 (土) 15:00 ~ 17:30 サンパルネコンベンションホールに、ソーシャルメディア・IT の若手騎手である IT ジャーナリスト津田大介氏をお招きし、「情報を行動するためのガソリンにする」という演題で講演していただきました。テレビ、ラジオ、ソーシャルメディアで精力的に活躍し、知名度が高いこともあって、市長を始め多数の市民と会員の方々が参加しました。今回、比較的若い人も参加し、市民 109 名、会員 35 名、総勢 144 名で、ほぼ満席の参加人数になりました。

津田氏が大学に入学した頃、24 時間定額で接続可能なインターネットの普及が始まりました。検索エンジンのグーグルの創始者であるセルゲイ・プリンとラリー・ペイジも津田氏と同年代だそうです。氏は、最初に雑誌が好きだったのでインターネット雑誌に投稿をはじめ、1997 年に小さな会社を立ち上げました。インターネットの普及は、今まで一部の人によって独占されていた情報が、民主化されたと考えられるとのこと。

情報技術の発達によって、社会は大きく変化しました。技術の進歩によって既存の仕事がなくなり、その技術によって新しい産業が生まれます。人口知能の発達によってホワイトカラーの職さえも失われようとしています。そんな中で、氏は、自分で学びながら、変化していくことが大切であることを強調し、情報は生きるための浮輪となりうると説明します。しかし、情報は反面危険な側面をもっており、情報は、心理学の教科書にのっている「だまし絵」のように、発信者の意図が含まれていることを忘れてはならない。

そんな中で、メディアリテラシー（情報を読み取り、評価する能力）を高めるためにはどうしたら良いのか。①情報の一部を切り取ると真逆の意味になる。②情報には意図があり、複眼的思考が必要。③ネット、紙、人の 3 つが判断するために必要。ネット情報は、早く入手できるが信頼性に問題がある。新書等の本は信頼性があり密度が濃い。人とコミュニケーションをとることが必要。③のネット・紙・人の比率は、人によって変わっても良いが、氏は 30%、30%、40%程度にしているとのこと。この 3 つは、どれも切り捨てることができない。情報ギャップを知らず他人に説明すると、読み取る能力に役立つことも強調されました。講演後の質問時間に多くの質問がありましたが、質問に対して氏の包み隠しのない率直な回答が印象に残りました。

(写真：小菅 宏 文：山本 岩男)



創立20周年「稲門会活性化アンケート」回収結果について

平成 28 年 3 月実施、4 月に回収した標記アンケートについて結果を報告します。

会員宛アンケート配布枚数

190 枚

同回収枚数

112 枚 (回収率 59%)

1. 参加した行事について

① 総会 88 (79%) ② 新年会 72 (64%) ③ お花見会 49 (44%) ④ 納涼会 56 (50%)
⑤ お誕生会 81 (72%) ⑥ 雑学講座 75 (67%) ⑦ 映画会 48 (43%)

2. 上記で印象に残っている行事

① 総会 33 (29%) ② 新年会 29 (26%) ③ お花見会 15 (13%) ④ 納涼会 24 (21%)
⑤ お誕生会 27 (24%) ⑥ 雑学講座 31 (28%) ⑦ 映画会 17 (15%)

3. 今後も続けてほしい行事

① 総会 50 (45%) ② 新年会 47 (42%) ③ お花見会 33 (29%) ④ 納涼会 42 (38%)
⑤ お誕生会 45 (40%) ⑥ 雑学講座 58 (52%) ⑦ 映画会 41 (37%)

4. 東村山稲門会ニュースについて

① ほとんど全部読む 71 (63%) ② 拾い読み 35 (31%) ③ 項目だけ見る 2 (2%)
④ ほとんど読まない 2 (2%)

5. 東村山稲門会ホームページについて

① 1 週間に 1 回位見る 11 (10%) ② 1 ヶ月に 1 回位見る 19 (17%)
③ たまに見る 23 (21%) ④ ブログ欄を見る 0 (0%) ⑤ ほとんど見ない 52 (46%)

6. 映画会 (27.12.13 実施の「サウンドオブミュージック」) について
 ① チラシを見た 67 (60%) ② 見ていない 37 (33%) ③ 映画に興味があった 75 (67%)
 ④ 映画に興味無し 34 (30%)
7. 雑学講座について
 ② 1回以上参加 70 (63%) ② 不参加 27 (24%)
8. 同好会参加者数実績
 ① 俳句 11 ② ゴルフ 17 ③ 英語 11 ④ 音楽 8 ⑤ テニス 14 ⑥ ウォーキング 25
 ⑦ 囲碁 12 ⑧ カラオケ 10 ⑨ 旅行 16 ⑩ 郷土史 9 ⑪ 早稲スポ 5 ⑫ 園芸 10
 ⑬ パソコン 5 ⑭ 麻雀 10
- 会員の41% (71名) が未回答であり、現状を全て反映しているとは言えませんが、行事のあり方やニュース・ホームページ等の役割について貴重な資料となりました。
- (當間 昭治 記)

特別企画 創立20周年リレー随筆 4

多くの友を得て 稲門会に感謝

東村山稲門会 第4代会長 小亀 輝雄(昭34商)
 平成20年11月1日～平成25年10月31日会長在任



東村山稲門会の設立20周年を迎え、改めて月日の流れ行く速さに圧倒される思いです。早稲田大学同窓の一人、上 幸雄 (S47・教育) 氏が東村山市長に立候補した折の1995年(平成7年)4月2日に西武園のモンベールで当時の早稲田大学総長奥島先生をお迎えし、早稲田大学の卒業生が中心となって「東村山の教育と文化を考える会」を開催しました。その席で私が東村山にも稲門会を是非作りましようかと提案したことが契機となり、準備会が発足し、5回の設立準備会、3回の発起人会が行われました。稲門会設立の趣旨として「私たちは、東村山市に住む早稲田大学出身者というつながりを大切に、この街で何ができ、何をしたいのかを共に考え、実践する場を創りたい」と考えていました。そして同時に、世代や、立場や活動の分野を超えて人間的ふれあいの場が出来れば地域社会で、楽しい会が出来るのではないかと期待しました。この間多くの卒業生のご努力により、1996年(平成8年)11月10日に設立総会が所沢の人間科学部の校舎で盛大に行われました。そしてあの日から20年が経過しました。

平成9年4月から、本当に手作りから始めた稲門会ニュースも、多くの皆さまのご協力により、今月で232号となりました。設立10周年には山下会長に多額なご寄附を頂きボニージャックスを招き市民や小・中学生も招待して盛大な公演会を開催し、いまでも歌い継がれている名曲「東村山稲門会の歌」も作られました。大西初代会長(7年在任)2代山下会長(3年在任)、3代三宅会長(2年在任)と続き私が4代会長となりましたが、大学職員OBである私には先輩職員から、地域稲門会の会長は地域の有力者になって頂き、職員OBは陰で支える方が良いというアドバイスも頂きましたが、役員会の皆さまからの強い推薦を頂き引き受けることとなりました。また、4年の任期を超えた段階で後任者選出に難渋し、1年続投したことについてもご批判をうけましたが、決して会長の地位にしがみつきたいと思つてのことではなく、後任者が決らなかつたからです。その後、當間会長に就任頂き、役員会の組織もしっかりし、20周年の諸行事も盛大に行われており、嬉しく思っています。この20年間、ご協力頂き、汗を流して頂いた会員の皆様方に心から感謝申し上げます。特に私の会長時代にいたらない私を支えて頂いた副会長・幹事の皆さまには改めて感謝申し上げます。これからも会則にありますように 会員相互の親睦と研鑽・早稲田大学の発展と東村山市の文化向上に寄与するため、協力し明るい楽しい稲門会を作っていきます。

個人的には退職後東村山という地域社会で早稲田という縁で素晴らしい友人を得て充実した生活が送れたことに感謝しております。今後は稲門会活動を楽しませて頂くと同時に生涯応援団でありたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します

素晴らしい 早稲田の友に 囲まれて 傘寿近くに 辿り着きたり

同好会だより

当会会員及びご家族の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

女子会 が立ち上がりました。

昨年 10 月 31 日に開催され、半年後の開催予定だった女性懇親会が、会場の設定および予約を吉澤雅子さん、会計係を崎山裕子さんが引き受けてくださり、5 月 28 日（土）12:00 ~ 14:30、サガミ東村山店にて開催することができました。会は新入会員小山友希さん、上町弓子さんのご参加もあり、自己紹介から始まりました。学生時代の生活、趣味や仕事の経験、現在の過ごし方など、今まで知らなかった一面が伸びやかに話され、お互いに刺激になったとか親しみを感じたとの感想や、新入会員の方からは、エネルギーを貰えて参加してよかったなどということも伝えられ、女性会員同士の交流の意義を感じたことが、いろいろ述べられました。その後これからの話題になり、参加者 8 人の方々が全員発起人となり、女子会を設立していくことがまとまりました。

名称 女子会とする

女性会員を中心とした懇親会、昼食会を中心に親睦を図り、お互いのさらなる成長を願って行こう。また年に 1 ~ 2 回は、女性会員が中心となってイベントを行い、会員の皆様にも参加を願ったり、女性同士として会員の奥様の参加も願って、親睦を深めていこう。

出席者、および女子会発起人、(敬称略)

上 素子 (昭 40 文)、小山友希 (平 23 文)、上町弓子 (平 6 文)、紅松容子 (昭 45 教)、崎山裕子 (昭 52 教)、重原真知子 (昭 30 文)、吉澤雅子 (昭 38 文)、滝川桜子 (昭 40 文)

今回は、上 素子さんが以下の企画をご提案下さいました。(昼食会を持ちながらよりよい会の在り方を共に考えていきたいと思ひます。)

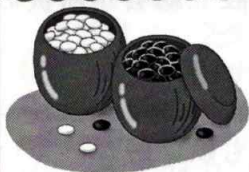
日時 9 月 3 日 (土)、 11:00 集合

内容 小平市小川西町 平櫛田中彫刻美術館見学後、近くの地中海料理店で昼食会

8 月に入りましたら、詳細は上 素子さんからメールで、女子会員の方々にご連絡があります。
(世話人 滝川桜子)

囲碁同好会

世話人 福田 晃 TEL 042-394-0593



稲門会囲碁同好会の例会が 6 月 18 日(土)、市民センター第 6 会議室にて行われました。今回も 6 名だけの寂しい例会となってしまいましたが、対戦者が入れ替わり、有段者と級位者とで対局できたのは良かったと思います。

それにしてもこれだけ参加者が少ないと、今後の東村山稲門会囲碁同好会の存続が心配です。どうか先輩方がせっかく築かれたこの部会の灯火を絶やすことなく、皆で盛り上げていきたいものです。不参加の方には、お仕事の都合や体調不良にて参加できない方が多かったのですが、どうか健康に呉々も留意されたいと思います。

当日の参加者 (敬称略) 堀田、高橋、江藤、塩田、中川、福田

次回の例会 8 月 20 日(土) 13:00 ~ 市民センター第 6 会議室

園芸の会

世話人 當摩照夫・彰子 TEL 042-396-3033



園芸の会では 6 月 17 日、都内の小石川後樂園に花菖蒲の観賞に出かけました。ご存じの通り花菖蒲は梅雨時の花で、雨が心配でしたが何とか降られずにすみました。ここ、小石川後樂園は水戸藩江戸上屋敷の庭園だったところで、水戸黄門様の光園公の時に整備されたものです。当時の大名の威光がうかがえる超大規模な庭園で、花菖蒲は少し盛りを過ぎていましたが、大小の池、見事な枝ぶりの松、美しく咲いた睡蓮など日本庭園の素晴らしさを満喫できました。

帰りにはもちろんビールで乾杯。そちらも大いに楽しみました。

パソコン同好会

世話人

小菅 宏 042-391-0219
福田昇七 042-391-9726

A クラス：Windows10 への無料アップグレードを行いました。パソコンがアップグレード対象でない 1 名を除いて 3 名が成功しました。今の所それほど違和感なく使えています。

B クラス：① Windows10 への無料アップグレードに成功した人が 3 名で未だの人が残りです。②稲門会ニュースやホームページに使用する写真のサイズをまとめて縮小する方法を勉強しました。③メールに写真を貼付して送る方法を復習しました。

Windows10 にアップグレードする理由は？ A) Windows7 のサポートがあと 3 年で終了する。(サポート終了後はセキュリティリスクを抱える) 7 月 28 日以降はアップグレードが有料になる(約 2 万円弱掛かる) B) Windows8 の使いにくさを解消できる。C) 少し古いパソコンでも Windows10 に出来れば快適に動作する場合が多い。D) 新しい機能を利用できる。(音声入力やこれから開発される機能) 見学歓迎です。

参加者：下記以外にシルバー人材センターの講師 2 名がおります。

6 月 11 日：A クラス：三宅、森本、小菅夫人。

B クラス：山本、當間、赤荻、小亀、小菅(講師)

6 月 18 日：A クラス：森本、月森夫人、小菅夫人

B クラス：山本、福田、當間、赤荻、紅松、小菅(講師)

グローバルサロン英語の会

世話人 滝川正義 TEL 042-394-8187
小亀輝雄、木野友博、山本岩男

7 月 19 日(火) 市民センター
会議室 14:00 ~ 16:30 で、第
26 回の会を開催致します。

1. Guest Speaker の講演

ゲストスピーカーとして、市川彰彦氏をお迎え致します。

演題は「ベサメ ベサメ ムーチョ」

(すべてのメキシコ人は情熱的?)

市川さんが、メキシコに行った時に聞いた音楽を 2 ~ 3 曲聞いた後、メキシコ人についての印象を語って頂きます。初めて日本に来たメキシコ人が、テレビから流れてきた母国の歌「ベサメ ベサメ ムーチョ」を聞いて、目を丸くして驚いていました。75 年ほど前ベラスケス(女性)により作曲された曲が、今も歌われているなんて!

2. 英語で日本文化を紹介 担当 滝川正義氏

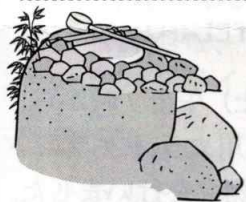
英文で興味ある日本文化の紹介方法を講義して頂きます。

3. オバマ米大統領広島演説の朗読

英文と日本語役文を順番に朗読し、演説文の内容を吟味します。

6 月 14 日 第 25 回 参加者 10 名 (敬称略)
清水、宮元、町田、赤荻夫人、黒田、吉澤(勇)、
倉田、小亀、滝川(正)、山本

俳句同好会(稲酔会)



第 86 回「稲酔」俳句会は、6 月 25 日(第四土曜) 14:00 ~

久米川駅傍「丸藤」1 階で開催しました。

6 月の句会参加者は、栗島三郎、井垣稲雀、風間和夫、幸田瑞雄、小亀稲生、高部糸行、山下波雲の計 7 名。投句参加が、出田麦穂、菊田一平、黒田柿黒、波多野敏治、八木竜湖、の 5 名。計 12 名の連衆でした。

出句 60 句のうち、兼題「蟻」を詠み込んだ句が 32 句と過半数を超えました。身近なところに恰好の句材があるものですね。

今回の互選による最高点句は、記事の締め切りに間に合いませんので、次号でお披露目となります。

次回 87 回「稲酔」俳句会は、8 月 27 日(第四土曜) 14:00 ~ 久米川駅傍「丸藤」1 階で開催いたします。

兼題は「踊り」(盆踊り、踊りの輪、踊子、踊唄)です。

どんな句が出てくるか楽しみです。

(稲雀 記)

世話人 井垣和太 TEL 04-2924-2934

ウォーキングの会

バラの花咲く神代植物公園を歩く

世話人 阿部 滋 042-332-0298



5月25日、花の王様、バラを鑑賞しに、神代植物公園に行きました。

一時間位歩いてから公園に入る予定でしたが、広い園内をたっぷり歩くのだからバスで直接行こうということになり、三鷹駅から公園入口までバス利用。

園内はちょうど満開で堪能できましたが、平日にもかかわらず人出が多いように感じられました。温室等見たのち、おいしい蕎麦をいただいてから帰途につきました。

参加者：阿部、倉田、重原、清水、高橋、滝来(洋)、福田、町田、山本、吉澤夫妻、吉田(劭)

次回予定ご案内

世話人 高橋 正夫 TEL 042-309-3407

今回はグルメを楽しむウォーキング会を企画しました。六本木ヒルズでブラジル料理のシュラスコを賞味します。

日時：7月24日(日)

集合場所：東村山駅高田馬場方面ホーム中程

集合時間：午前9時 (9時12分の急行に乗ります)

行程：JR 山手線田町駅下車→慶応大学三田校舎散策 →有栖川公園→六本木ヒルズ

(歩行距離 3キロ弱)

昼食：六本木ヒルズ内「バルバコア」

予算@ 5,000 円 (シュラスコ食べ放題・生ビールまたはワイン)

大きな肉やパイナップルを串刺しにして、炉で焼き、皿に切り分けるブラジル料理です。何種類もの肉が供されますが、牛の最高級部位であるピカーニャを堪能できます。サラダバーの種類も豊富です。

昼食後解散とします。(予約時間 12～14 時)

今回はレストラン予約が必要なため、事前申し込み制とさせていただきます。

7月15日までに申し込みをお願いいたします。

雨天の場合も決行いたします。

音楽同好会

世話人 市川彰彦 TEL 042-308-8181



5月31日(月)音楽同好会の例会を開きました。いつものように多くの曲を歌いました。

その折大変興味のある話がでて強く印象に残りました。以前にも歌っていますが今回もゲーテ作詩・シューベルト作曲の野薔薇を歌い、重原さんより野薔薇の歌詞をドイツ語で朗読していただきました。いつもながらそのドイツ語が美しく感じられました。そしてゲーテとシューベルトにまつわる話をされました。作詩したゲーテにたいしてシューベルトは尊敬していて、ゲーテの詩に何十曲と作曲し、シューベルトへ支援する人はその曲集をゲーテへ郵送しているそうです。しかしゲーテはシューベルトを軽視した？、いやその時は夫人をなくして精神的に落ち込んでいて楽譜を見ず、結果的には無視されたと言うことでしょうか。

重原さんのお話を聞いて私自身その時代背景を少し調べてみました。この「野薔薇」は1858年8月に作曲されました。数ヵ月後にあの「魔王」がつくられています。同年代に歌曲を多数作曲したカール・レーヴェも「魔王」に曲をつけています。私見ですがシューベルトの方が芸術的に数等上と感じました。もしもゲーテが二つの曲を聴いたらどんな感想を持ったか気になります。

今回の例会で歌われる曲を選んでいきます。季節の歌 特に 夏・秋に歌われる懐かしい曲です。曲の選定に希望等ありましたらどうぞご連絡ください。次回は8月下旬 恩多ふれあいセンター。

カラオケ同好会

世話人 南湖修一 TEL 042-390-2287



6月4日(土)午後7時から、いつもの久米川カラオケランド・ズーで6月例会を行いました。

波多野さん、小松原さん、井垣さん、南湖が集まり、少人数ながら各々の歌声を磨きました。

8月は例会をお休みします。

9月例会は、9月10日(土)午後7時30分から久米川のカラオケランド・ズーで行う予定です。どなたでもご参加できます。ぜひどうぞ。

投稿

シンガポール滞在記

小林裕子 (昭57商)



シンガポールは海に囲まれ、ほぼ赤道に位置する常夏の国です。毎日25－33度。暑く感じる日で35度。湿気は多い日とさらさらしている日に分かります。

現在約4割が外国籍(ホワイトカラーからワーカーまで)と言われ、多種多様な人種が混在・共存しています。そして、それぞれの食物・文化が街に溢れ、魅力を創り出しています。

なぜ人々を惹きつけられるのでしょうか？

生活上では、監視国家による治安の良さ、水道水が普通に飲める、この2点により、絶大な安心感があります。国家としては、アジアのハブである為への、法人税を安くするなどの企業誘致、相続税を取らないなどの金持ち招聘策、アジアのシリコンバレーを目指す仕組み、観光のためのアトラクション作り、等々様々な将来を見据えた政策の成功が今日の繁栄をもたらしています。

個人的見解では、英語が国の共通言語であることが、一番の強みだと感じています。学校教育を英語にし、自分の民族の言葉は第2言語として学びます。その体制により、40代以下の人々は皆英語が話せます。英国との歴史的経緯から、中国系の方でも、祖父母の代から英語がメインの家庭も多く、中国語は話せるが、読み書きは苦手という若い世代が増えています。

そのベースの下、外国人ビジネスマンは仕事、生活がしやすいので来星します。また、フィリピンの方も英語ができるので、ハウスメイドとして、家事、子育て、介護を担います。そのため女性は思い切り仕事ができます。

余談ですが、世界的に有名な投資家のジョージ・ソロス氏は現在シンガポールに住み、2人の娘さんを現地の学校に通わせています。これからは中国が重要な時代だと彼は考え、子供達に中国語を身に付けさせたい、そのために、英語、中国語双方が取得できるシンガポールを教育の地として選んだそうです。

シンガポールの教育制度は、狭い国土なので、人材こそ国の力としたリー・クワンユー氏の考えにより、選別エリート教育がなされています。

小学4年生で、能力別クラスに分かれ、小学6年生でPSLEテスト(シンガポール全国統一中学入試)を受けその後の学校進路が分かれて行きます。大学を目指すコース、一般的なコース、職業技術的なコースです。この6年生の時期のみ、職業キャリアを中断し、我が子に没頭する母親も出るそうです。そして、シンガポール大学(英国タイムズハイアーエデュケーションによる世界大学ランキング26位 参考・東京大学43位 北京大学42位)を頂点とするピラミッドを目指します。しかし、超エリートは、ハーバードやケンブリッジを出て、官僚になります。汚職を防ぐために、官僚は給与・待遇面で破格の扱いを受けています。このようにして、学歴重視、競争社会の風土が作られます。

エリートコースに上手く乗れなかった子供達でも、英語が使えるので、イギリス、アメリカ、オーストラリアなどの学校に活路を求められ、その後の仕事の選択地域も範囲が広がります。その他の、何らかの才能を認められた子は、国家の手厚い援助を受け養成されます。

農業は小さな国土なので、政策としては基本行わず(郊外での養鶏、野菜作り等があります)マレーシア、オーストラリア、中国本土等から輸入しています。近年、工場野菜が、安全志向、日系企業の取組などで、産業として増加しています。日本のマーケットの新鮮で豊かなラインナップを見ると、日本は食に恵まれているとしみじみします。

シンガポールの稲門会 は、20代から70代まで各年代偏りなく約300人の陣容です。若い稲門会の女性が、企業からの通常の転勤で大勢来星していたり、日本では就活をせず直接こちらの企業に就職していたりするのが、今どきです。

毎月第2火曜の夜に、居酒屋的な場所で定期的に会が開かれ、毎回60－70人が集まります。バーベキューやクリスマス会などのファミリーイベントも盛んです。早慶ゴルフトーナメント、早慶女子会なども開かれます。主たる幹事は早稲田渋谷シンガポール高校の職員、及び30代の若手です。

同好会等 短期予定表

同好会・行事	7月					8月					世話人 (問合せ先)	
	日	曜	時間	場所	備考	日	曜	時間	場所	備考		
ウォーキングの会	24	日	9:00	東村山駅上りホーム		—	—	—	—		高橋正	042-309-3407
郷土史の会	—	—	—	—		—	—	—	—		高橋正	042-309-3407
テニス同好会	4	月	9:00~11:00	運動公園コートE		7	日	11:00~13:00	運動公園コートC		野村茂	042-393-7036
	10	日	15:00~17:00	運動公園コートE		22	月	9:00~13:00	運動公園コートCD			
	18	月	9:00~13:00	運動公園コートE		31	水	15:00~17:00	運動公園コートD			
	27	水	15:00~17:00	運動公園コートA	予備日	—	—	—	—			
囲碁同好会	—	—	—	—		20	土	13:00~	市民センター別館		福田晃	042-394-0593
カラオケ同好会	9	土	19:00~	カラオケランドズー		—	—	—	—		南湖	042-390-2287
	—	—	—	—		—	—	—	—			
園芸の会	—	—	—	—		18	木	14:30~16:30	スポーツセンター		當摩	042-396-3033
麻雀同好会	—	—	—	—		—	—	—	—		阿部	042-332-0298
音楽同好会	—	—	—	—		*	*	*	恩多ふれあいセンター		市川	042-308-8181
俳句同好会	—	—	—	—		27	土	14:00~	「丸藤」2階		井垣	04-2924-2934
ゴルフ同好会	—	—	—	—		—	—	—	—		紅松	042-393-6924
グローバルサロン英語の会	19	火	14:00~16:30	市民センター2階		16	火	14:00~16:30	市民センター2階		滝川正	042-394-8187
早稲田スポーツ応援の会	—	—	—	—		—	—	—	—		大内	042-393-6100
パソコン同好会	2	土	13:00~15:00	シルバー人材センター	勉強会	13	土	13:00~15:00	シルバー人材センター	勉強会	小菅	042-391-0219
	16	土	13:00~15:00	シルバー人材センター	勉強会	20	土	13:00~15:00	シルバー人材センター	勉強会		
雑学講座	—	—	—	—		—	—	—	—		當間	042-391-6023

編集後記

○ 梅雨本番でうっとうしい日が続きます。今年は空梅雨という話でしたが、とんでもない、降れば豪雨の異常気象型です。肝心の首都圏の水瓶地方にはあまり降っていないようで、全くこの頃の気象には泣かされますね。雨の合間には猛暑日。皆様、呉々もご自愛を。

○ 次号の締め切りは7月23日（土）です。皆様の積極的な投稿をお待ちしております。

Fax : 042-396-5698 Email : teruo_tohma@ozzio.jp (當摩照夫)

俳壇

蟻の兵ガリバーみみずと死闘中 黒田 柿黒
 恋心激しく揺らす青嵐 幸田 瑞雄
 潮騒に思ひ出す君夏帽子 小亀 稻生
 富士一つ残す相豆の夕霞 高部 糸行
 武蔵野や雨にうたれて独歩の忌 波多野 敏治
 バス停のビルに嬉しや燕の子 山下 波雲
 深呼吸新樹を抜ける風に立つ 栗島 三郎
 今年竹親竹凌ぎ空を突く 井垣 稻雀
 蟻の列匍匐前進せし父や 八木 竜湖
 又類句又類想句蟻地獄 大岩を跨ぎ撓ふや鮎の竿
 棚田いま風重なりぬ額の花 銅色に疲れて西へ夏至の月
 一羽二羽五羽まで見えて燕の子 歩運びをためらいながら蟻の道
 菖蒲まつり駐車禁止の目立つ道 名を捨てて働き蟻で居続ける
 碑の文字読むがに登る蟻 職退きて帰農の友の苺摘む
 梅雨晴れず「養生訓」を読み返す 駅長の白き手袋梅雨晴間
 図書館へ暫し寄り道薄暑かな 梅干して眼鏡ずり落ちさうに母
 太宰忌の雨に灯ともす三鷹駅